

山の事故 危険はいつもすぐそば

令和5年における山岳遭難（山の事故）の発生件数は45件（前年比+8件）、遭難者数49名で、そのうち4名の方が亡くなっています。山岳遭難は、事前の準備を十分に行うことで、そのリスクを大きく減らすことができます。しっかりと計画を立てて出発前には登山届（登山計画書）を提出し、楽しい登山にしましょう。

CAUTION



全国山域の登山届は

「コンパス」から!

自治体や警察と連携しています。

登山届は「提出」するから「共有」するへ

計画
しましょう



<https://www.mt-compass.com/howto.php>



愛知県警はインターネット サイト「コンパス」と連携!



楽しい登山のために!



1 登山計画を立てよう!

- 「登りたい山」より「登れる山」へ
 - 対象山域の情報を入手して、計画を作成。予備行程も考えましょう!
 - 気象条件を確認し、急な天候変化に注意!
- ※ 遭難原因の約35%が疲労や病気です。



2 装備品や携行品等のチェック!

- レインウェア、防寒具、ヘッドランプ、地形図等は必ず用意! 約20%が道迷い!
- 日帰りであっても非常食を持参!
- 遭難対策としてGPS機貸与付きの保険加入等を検討しましょう!



3 登山計画の共有（登山届等）

- 家族など、身近な人へ知らせておきましょう。
 - 「コンパス」へ入力したり、対象山域の管轄警察へ提出しましょう。
- （愛知県内は警察本部地域総務課宛に郵送、又は山岳を管轄する警察署に郵送又はFAX）

～万が一遭難したら!～

- 何よりも体力温存に努め、むやみに動き回るのはやめましょう。
- 山岳遭難を疑った段階で、救助要請をしましょう。

